

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報		
・ 学籍番号	BP22026	
・ 氏名	北田 章伍	
・ 学部	システム理工学部	
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科	
・ 学年(渡航開始時)	学部 3 年生	
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☒ 氏名も掲載してよい ☐ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望	

留学先情報																			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型																		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型																		
・ 国・地域名	スウェーデン																		
・ 都市名	ストックホルム																		
・ 留学先大学名	KTH スウェーデン王立工科大学																		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）																		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2024 年 8 月下旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)																
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<table><tbody><tr><td>☐ 1年前期</td><td>☐ 修士1年前期</td></tr><tr><td>☐ 1年後期</td><td>☐ 修士1年後期</td></tr><tr><td>☐ 2年前期</td><td>☐ 修士2年前期</td></tr><tr><td>☐ 2年後期</td><td>☐ 修士2年後期</td></tr><tr><td>☐ 3年前期</td><td>☐ 博士以上</td></tr><tr><td>☒ 3年後期</td><td></td></tr><tr><td>☐ 4年前期</td><td></td></tr><tr><td>☐ 4年後期</td><td></td></tr></tbody></table>			☐ 1年前期	☐ 修士1年前期	☐ 1年後期	☐ 修士1年後期	☐ 2年前期	☐ 修士2年前期	☐ 2年後期	☐ 修士2年後期	☐ 3年前期	☐ 博士以上	☒ 3年後期		☐ 4年前期		☐ 4年後期	
☐ 1年前期	☐ 修士1年前期																		
☐ 1年後期	☐ 修士1年後期																		
☐ 2年前期	☐ 修士2年前期																		
☐ 2年後期	☐ 修士2年後期																		
☐ 3年前期	☐ 博士以上																		
☒ 3年後期																			
☐ 4年前期																			
☐ 4年後期																			
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	スウェーデン王立工科大学を留学先に選んだ理由は、毎年多くの留学生を受け入れている実績があり、サポート体制が充実していると感じたからです。実際に、留学生の受け入れ担当者はメールでのやり取りにおいてレスポンスが早く安心感を覚え、留学手続きから帰国後の成績証明書発行までスムーズに進みました。また、ヨーロッパならではの参加型授業や環境問題への取り組みを肌で体感できることが魅力的でした。さらに、自分が興味を持つ Human Computer Interaction 分野の授業や研究が充実していたことも、KTH を選ぶ大きな決め手となりました。																		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)																			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができた等)	システム理工学部の国際プログラムに所属していたため、休学なしに留学へ行くことができました。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

Advanced Graphics and Interaction (AGI と略す) という授業を中心に、User Experience Design and Evaluation や Swedish A1 for Engineers という授業を取りました。留学の大きな目的であった「多国籍チームでのソフトウェア開発経験を得る」ために自発的にチームのメンバーを集め、リーダーとして全体の制作を統括していました。他2つの授業についてもディスカッションが多かったので、毎授業積極的に参加するようにしていました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Swedish A1 for Engineers	単位数 (現地単位数)	7.5
科目概要	スウェーデン語の CEFR A1 レベル(簡単な日常会話)を習得するコース。授業は全部で14回あり、授業後の課題に加えてリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングのテストがそれぞれ存在します。授業内ではスウェーデン語の発音・会話練習を行う時間が毎授業で4回ほどあり、情報系だけでなく建築など異分野の学生と交流する場面が非常に多かったです。他の教科と比較すると学期末のスピーキング・ライティングのテストを除いて難易度は高くないので履修すると安心材料になると思います。		
科目名②	Advanced Graphics and Interaction	単位数 (現地単位数)	9.0
科目概要	CG表現やインタラクション(コンピュータと人間の相互作用)に関する論文をもとにPBL形式でチームを組んで作品を作るという授業。授業の時間はほとんどがチーム制作の時間。そのほかには大学構内やストックホルムの博物館で作品を披露するイベントが合計で4回ありました。英語の論文を読み、その上で実装方法を調べて実装していくので週3日はこの制作とチームのミーティングに使っていました。多国籍チームだったので会話がとても楽しかったですし、Unityで制作したVRゲームを展示して先生だけでなく一般の方々からフィードバックをいただけたのが嬉しかったです。		
科目名③	User Experience Design and Evaluation	単位数 (現地単位数)	9.0
科目概要	UXの実践例やフレームワークについて学ぶ授業。座学は授業全体の3割くらいで、残りは即席に作ったチームでの論文セミナーやUXの実践例を考えるワークショップという形になっており参加型のアクティビティが多かったです。なので論文の解決したい課題感やデザイナーの考え方が議論を通して実感しながら理解できたことが面白かったです。学期末には Interaction Criticism という 2000語の批評文を書いてピアレビューを行ったり、授業で取り扱った事例についてUXフレームワークを組み合わせ進化させて提案資料を作る課題がありUXについての理解が深まりました。		
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

ガムラスタン、ゴットランド、キルナなどスウェーデンの代表的な観光地を訪れることができ、ガムラスタンでは応急を見学したりクリスマスマーケットでGlöggというホットワインを飲んだり、キルナでは犬ぞりをしたり、その土地のアクティビティをできて今でもとても印象深い記憶になっています。また、PBLのチームメイトと海外のインターン事情や大学院進学、就職について生の声を聞けたのも面白かったです。チームメイトにはスウェーデンの学生もいたのでミートボールの美味しい店やハイキングのビールを飲んだりと地元の人しか知らないような食事や場所を知れたこともよかったです。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

この留学はとても貴重な経験だったと思っています。英語しか使えない環境でチーム制作を統括し、プレゼンを行い、展示場のコーディネーターとコミュニケーションをとり、同じ授業の仲間と展示や作品の技術について情報交換することで、英語によって自立して生活できる自信が身につきました。英語力は十分とはいえ、何度も言い方を変えて説明したり、理解できずに何度も聞き直すことこそありましたが、逆に言えばそれでコミュニケーションを取れるという実感が英語を使うハードルをかなり下げてくれたと思っています。

あとは後輩へのアドバイスということで生活環境について述べると、まず外食は高価です。一食平均130krなので日本円換算2,000円ほどになります。時間がない時にはサンドイッチを買ったり、セブンイレブンでチキンラップやPicadeliというサラダボールを買ったりすることになると思います。これらは大体60から80krほどで購入できます。

自炊については、日本から電子レンジのバスタ調理器と料理酒は持っていくのがいいと思います。時間がない時にバスタ調理器は現地の瓶詰めミートボールと混ぜてささっと食べてお手軽です。酒類は販売規制があるため、簡単に手に入らないと考えた方が良いでしょう。また、スウェーデンでは日本米は手に入りづらいので Glotrisというタイ米を2時間ほど浸水したあとライスクッカーで調理すると日本米と遜色ない味になります。もしくはBasmatirisというインディカ米が手に入りやすいので、それを鍋で炊くのも良いと思います。

留学手続き時に苦労した点

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など) | <p>KTH の場合はシラバスが全てネット上で閲覧できるのでそれほど大変ではなかったです。ほとんどは修士向けの授業で難易度も易しくはないので留学で勉強したいことに絞るのが良いと思います。ちなみにですが、授業の履修についてはセメスター・クォーターの授業それぞれ授業開始から約2週間は変更が可</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。) | <p>Residence Permit (居住許可) の取得にあたって、基準額を超える預金証明を英語で取得する必要があったり、スウェーデン大使館に行って受け取らなければならない書類があったりするのでかなり余裕を持って動くのが良いと思います。参考までに自分の場合は書類の準備に2週間、申請から発行まで 1 ヶ月ほどかかって渡航 1 ヶ月前になってようやく取得できました。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。 | <p>下記の宿泊施設についてですが、KTH は学生寮に入れないものと思って手続きを進めるのがいいと思います。日本人だけでなく周囲の 1 セメスターの留学生は寮に入らず自分で宿を取っていました。</p> |

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等) | <p>Kista (シスタ) という地域のアパート。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等) | <p>KTH に依頼しましたが、学生寮は満室とのことだったので Airbnb を使用して自分で探しました。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ | <p>アーランダ空港から大学の送迎バス → メトロに乗車 → Kista 着 (2 時間弱)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。 | <p>Kista → メトロ (青) T-Centralen → メトロ (赤) Tekniska Högskolan (約40分)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。 | <p>ワンルームでひと月およそ120,000円。同学科の友人とルームシェアをして負担額は月で約60,000円。セントラルヒーティングがあったので冬場でも室内は18℃程度あったため快適でした。部屋は正直広いとは言えませんが、近所に別のKTHキャンパスがあり基本はそこで勉強や作業ができたので不自由ありませんでした。</p> |

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	交換留学なので無料
往復航空券代(往復)	¥345,800	FINNAIR 羽田空港 ⇄ アーランダ空港
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥101,970	AIG 損害保険
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥36,583	フライト用品, VR 開発機器
計	¥484,353	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥60,000	12 万円の部屋をルームシェア
食費/月	¥24,000	自炊の費用
その他/月	¥60,000	交通費・外食・観光 (月平均で換算)
計	¥144,000	

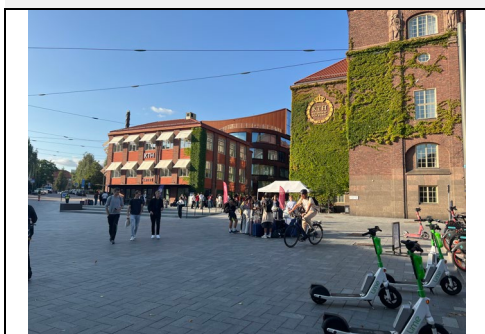
奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

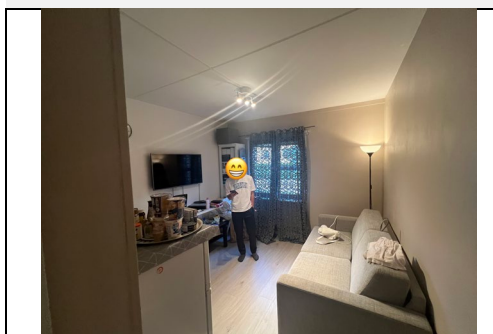
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

KTH のエントランス
(Tekniska Högskolan 駅を出た正面にある)

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

ルームメイトと宿泊していた部屋

その他、任意の写真



説明文

Willy:s というスーパーの内装
(2kg の合挽肉が 90 kr と破格の安さだった)

その他、任意の写真



説明文

ガムラスタンの街並み

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。